

プトとして2002年に発刊された上野義和・森山智浩他著『認知意味論の諸相 一身体性と空間の認識一』の研究内容も随所に生かされているが、いずれの教育書も各英語表現のうわべのイメージに捕われず、その中核に潜む「概念」を明らかにした上で意味論的メカニズムを学習者にわかりやすく提示することに専念した。特に、『英語教師のための効果的語彙指導法 一認知言語学的アプローチ一』はその理念が評価され、

- ・当時の文部科学大臣政務官(現 官房副長官、教育基本法改正促進委員会起草委員長)である衆議院議員下村博文氏にはご推薦を、
- ・民間教育連盟には「2006年度教育図書最優秀賞」を頂いた上に、
- ・「英語法」「言語学に関する事典」「指導に関する事典」等のジャンルでウェブ上の売上統計も多大な支持を示している。

現在、私が担当している講座(於京都外国語専門学校、太成学院大学)の受講者計約230名に両教育書を教科書として使用しているが、それに基づいた語彙学習指導に対する支持率が9割を超えている現状も考えれば、上記の女子学生の涙と我々の努力は無駄ではなかったと確信している。そして、本書のコンセプトを基盤にさらなる研究・実践を進めることが多くの学生達の頬が涙に濡れる日々にピリオドを打つことにつながるのではないかと考える。そう、あの日の悪天候が俄かに晴れ上がったかのように…

もりやま ともひろ



1月のピックアップコーナー

『人 権』

小笠原 祥子

世界人権宣言は、1948年(昭和23年)12月10日、国際連合の第3回総会で採択されました。その日を記念し、国際連合は、毎年12月10日を「人権デー」として、加盟国などに人権尊重思想の啓発のための行事を実施するよう呼びかけています。日本では、1949年(昭和24年)から、法務省と全国人権擁護委員連合会が、世界人権宣言が採択されたことを記念して、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動を全国的に展開しています。

「第58回人権週間」(平成18年度)の強調事項は次の16事項です。

「育てよう一人一人の人権意識一思いやりの心・かけがえのない命を大切に一」「女性の人権を守ろう」「子どもの人権を守ろう」「高齢者を大切に作る心を育てよう」「障害のある人の完全参加と平等を実現しよう」「部落差別をなくそう」「アイヌの人々に対する理解を深めよう」「外国人の人権を尊重しよう」「HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう」「刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう」「犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう」「インターネットを悪用した人権侵害は止めよう」「性的指向を理由とする差別をなくそう」「ホームレスに対する偏見をなくそう」「性同一性障害を理由とする差別をなくそう」「北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう」

図書館でも12月から1月のピックアップコーナーで人権に関する図書の展示を行っていますので、是非ご利用ください。

おがさわら しょうこ(課長・情報サービス課)